

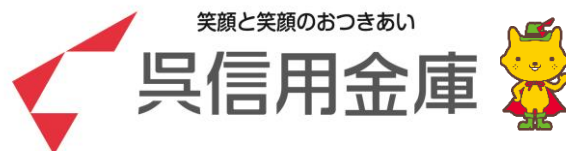
2023 年度決算等に関するプレス資料

I. 2023 年度（2024 年 3 月期）決算概要

1. 損益の状況
2. 営業活動の状況
3. 健全性指標

II. 中期経営計画および 2024 年度の計数計画

1. 中期経営計画
2. 2024 年度の計数計画



I. 2023 年度(2024 年 3 月期)決算概要

1. 損益の状況

○経常収益

売上高にあたる経常収益は前期比 4.7%増加の 108 億 46 百万円となりました。

貸出金利回り低下の影響を上回る貸出金残高の増加により、15 期振りに貸出金利息収入が増加したことに加えて、有価証券利息配当金、役務取引等収益も増加した結果、経常収益は増加いたしました。

○経常費用

経常費用は、前期比 8.1%増加の 91 億 20 百万円となりました。

貸出金不良債権処理額は減少したものの、人件費に加えて物件費が増加したことにより、経常費用は増加いたしました。

○経常利益、当期純利益

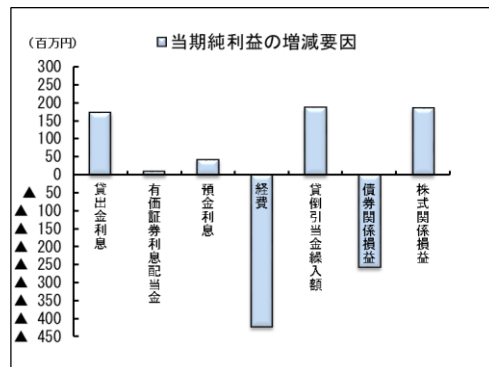
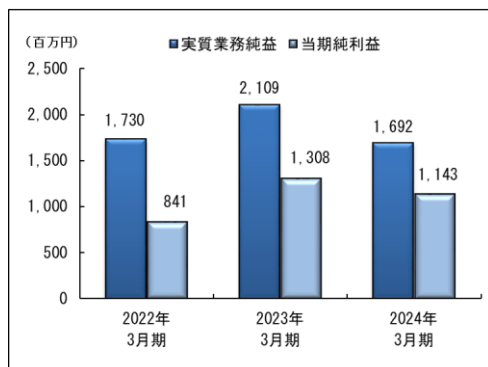
その結果、経常利益は前期比 10.5%減少の 17 億 25 百万円、当期純利益は広中央支店建替にかかる特別損失を計上したこともあり、12.6%減少の 11 億 43 百万円となりました。

○実質業務純益

本業の収益を示す実質業務純益は、経費の増加等により 19.7%減少の 16 億 92 百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比	増減率
実質業務純益	1,730	2,109	1,692	▲ 416	▲ 19.7
資金利益	8,389	8,520	8,748	228	2.6
貸出金利息	6,467	6,437	6,610	172	2.6
有価証券利息配当金	1,895	2,011	2,021	9	0.4
預金利息	233	192	151	▲ 40	▲ 20.9
役務取引等利益	3	25	89	64	250.8
その他業務利益	78	102	▲ 181	▲ 284	▲ 277.5
経費	6,740	6,538	6,963	424	6.4
貸倒引当金繰入額	324	227	41	▲ 186	▲ 81.9
経常収益	10,213	10,359	10,846	486	4.7
経常費用	8,899	8,431	9,120	689	8.1
経常利益	1,313	1,927	1,725	▲ 202	▲ 10.5
当期純利益	841	1,308	1,143	▲ 165	▲ 12.6

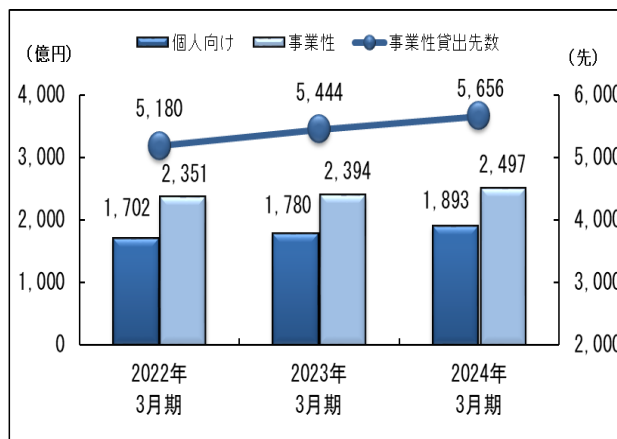
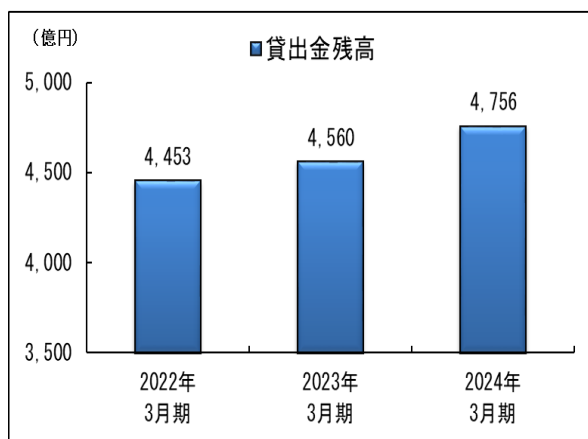


2. 営業活動の状況

○貸出金

貸出金は、伴走型営業を通じた金融支援や、ローンセンターによる住宅ローンの推進等により、**期末残高は前期比 4.3%増加の 4,756 億円となり、11 期連続で増加**しました。

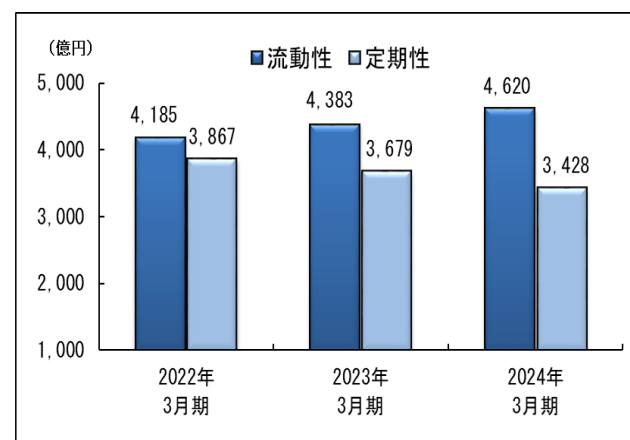
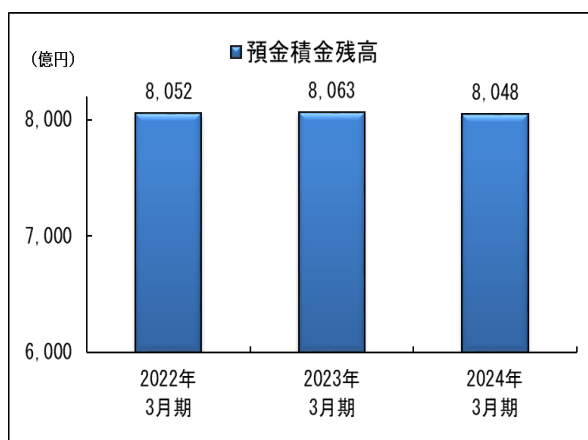
事業性の貸出先数は、広島地区における継続した新規開拓活動等により、**3.8%増加の 5,656 先**となりました。



※ 事業性貸出先には、地公体、金融機関向け貸出を含んでいません。

○預金積金

預金積金は、給与・年金振込や口座振替、インターネットバンキング契約の推進に加え、「インターネット支店開設 6 周年記念定期預金」を発売などの営業活動に取り組んでまいりましたが、公金預金の減少により**期末残高は前期比 0.1%減少の 8,048 億円となり、7 期振りに減少**しました。

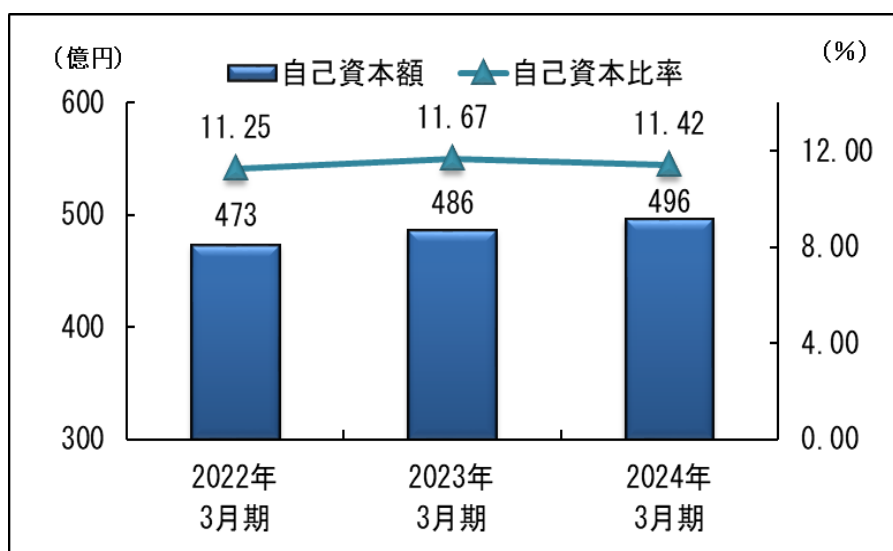


3. 健全性指標

○自己資本比率

自己資本額が前期比 2.0%増加した一方、リスク・アセット等も 4.2%増加したことにより、自己資本比率は 0.25 ポイント低下し 11.42%となりました。

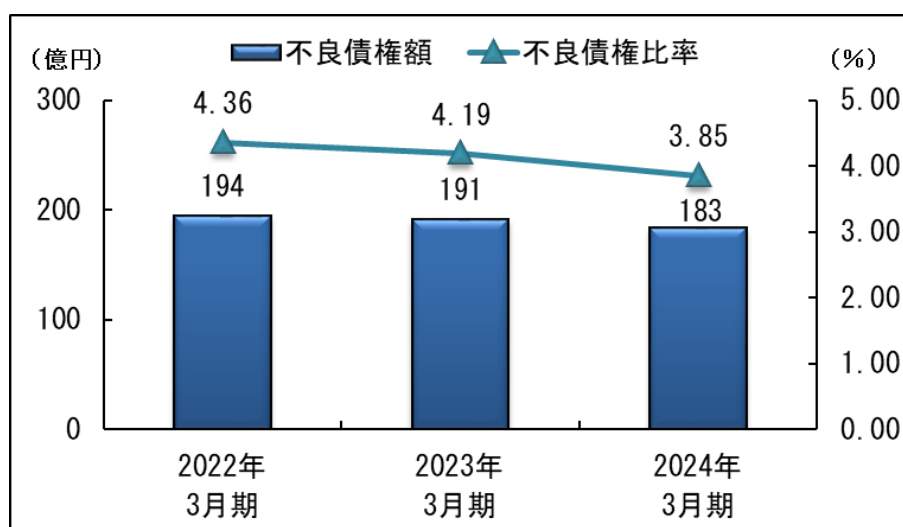
これは、国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準（4%）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



○不良債権比率

貸出金が増加したことに加えて、業況が低調な取引先への支援に取り組んだ結果、不良債権額は前期比 4.1%減少の 183 億円、不良債権比率は前期比 0.34 ポイント低下の 3.85%となりました。

なお、これらの不良債権は、担保や貸倒引当金等で適切に保全を図っており、備えは万全です。



Ⅱ. 中期経営計画および 2024 年度の計数計画

1. 中期経営計画

2024 年度を初年度とする新たな中期経営計画を策定し、重点テーマには引続き、①営業態勢の強化、②経営管理態勢の強化、③人材育成・人材活用の充実化を掲げています。

(1) 計画名称

『^{ユナイテッド}UNITE くれしん』 ～共に創ろう 新たな時代～

(2) 計画期間

2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

新中期経営計画

2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
99 期	100 期	101 期	102 期	103 期	104 期



(3) ミッション・ビジョン（存在意義・将来像）

【ミッション】

人・企業・地域との繋がりを大切にし、地域社会の活力と成長に貢献する

【ビジョン】

☆ 地域と共創・共生する金融機関

金融サービス等を通じて、地域の持続的な発展と成長を支える

☆ 心温かく働きやすい職場

職員同士が、それぞれの個性や多様性を思いやり、働きやすい職場環境の実現を目指す

(4) 重点テーマ

項目	概要
営業態勢 の強化	当地域の課題解決に向けた「地域経済エコシステム」の深化、マザーマーケットに根差した収益基盤づくり、および未来顧客創造のための戦略的アプローチを進める。
経営管理態勢 の強化	持続可能なビジネスモデルの確立に向け、業務プロセスの見直しによる生産性の向上、経営計画に基づく収益力強化、および業務の適切性・継続性向上へのリスク管理の強化を進める。
人材育成・人材活用 の充実化	経営戦略に則した人的資本の最大化、および働きやすさが実感できる職場環境の整備に取り組む。

(5) 計数計画

重点指標	2023 年度 実績	2026 年度 中計最終年度目標
経常収益	108 億円	106 億円
コア業務純益	19 億円	12 億円
当期純利益	11 億円	6 億円

2. 2024 年度の計数計画

○経常収益

役務取引等収益等の業務収益の減少により、経常収益は前期比 2.3%減少の 105 億 89 百万円を見込んでいます。

○経常費用

経費の減少に加え、債券および株式関係損失の減少を見込んでおり、経常費用は前期比 2.0%減少の 89 億 37 百万円を見込んでいます。

○経常利益、当期純利益

その結果、経常利益は前期比 4.2%減少の 16 億 51 百万円、当期純利益は特別損失の減少を見込んでおり、前期比 5.7%増加の 12 億 9 百万円を見込んでおります。

○実質業務純益

なお、本業の収益を示す実質業務純益は、前期比 10.8%増加の 18 億 76 百万円を見込んでいます。

○2024 年度経営計画

2024 年度においても、以下の施策を実行することでお客さまや地域の課題解決に向けた伴走型のお客さま支援を実践することにより、地域金融機関としての役割を果たしていきたいと考えており、預金積金残高は 8,050 億円（2 期振りの増加）、貸出金残高は 4,864 億円（12 期連続の増加）を計画しています。

項目	施策概要
営業態勢の強化	・ 本業支援サービスにおける機能向上と拡大 ・ 非対面チャネルの深化および職域セールスによる個人ローン営業体制の確立
経営管理態勢の強化	・ 営業店窓口支援システムの拡大および定着化 ・ 広島西支店の新設
人材育成・人材活用 の充実化	・ IT デジタル人材の育成 ・ 人にやさしい環境を重視した職場の実現

(単位: 百万円、%)

	2024年 3月期	2025年 3月期	前期比	増減率
経常収益	10,846	10,589	▲ 256	▲ 2.3
当期純利益	1,143	1,209	66	5.7

以 上